様式第44(第53条の2関係)

主任技術者兼任承認申請書

　　年　　月　　日

関東東北産業保安監督部長　殿

 〒　　　－

 住所

 氏名　(名称及び代表者の氏名)

電気事業法施行規則第52条第4項ただし書の規定により次のとおり主任技術者の兼任の承認を受けたいので申請します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 兼任させようとする主任技術者 | 氏名及び生年月日 |  |
| 住　　　　所 |  |
| 主任技術者免状の種類及び番号 |  |
| 選任しようとする事業場の名称及び所在地 |  |
| 既に選任されている事業場 | 名称及び所在地 |  |
| 選任された期日 |  |

備考 1　法附則第7項又は第8項の規定により法第44条第1項の主任技術者免状の交付を受けている者とみなされた者に係る場合は、その旨を主任技術者免状の種類及び番号の欄に記載すること。

2　用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

【記載例】

主任技術者兼任承認申請書

必ず日付を記載して下さい。

 令和○年○○月○○日

関東東北産業保安監督部長　殿

〒000-0000

住所　○○県○○市○○町○番地○

氏名　○○○○株式会社

みなし設置者が手続きを行う場合には、みなし設置者であることが分かるように本来設置者の下欄に（みなし設置者）と記載してください。

　　　代表取締役　○○ ○○

(みなし設置者)

〒000-0000

住所　XX県XX市XX町第X地割X

氏名　株式会社XXXX

　　　代表取締役　XX XX

電気事業法施行規則第52条第4項ただし書の規定により次のとおり主任技術者の兼任の承認を受けたいので申請します。

複数の事業場の兼任を希望する場合は、それぞれの発電所について、必要事項を記載すること。

主任技術者の自宅の住所を記入

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 兼任させようとする主任技術者 | 氏名及び生年月日 | ○○　○○　昭和○年○月○日 |
| 住　　　　所 | 〒000-0000○○県○○市○○字○○番地　○○アパート○号室 |
| 主任技術者免状の種類及び番号 | 第○種電気主任技術者　00-E0000 |
| 選任しようとする事業場の名称及び所在地 | ○○○○太陽光発電所〒000-0000　○○県○○郡○○町○○番地 他○筆出力　kW　電圧6.6kV |
| 既に選任されている事業場選解任届出を提出した事業場の情報と、選任された日付を記入。複数あるとき(既に他の事業場の兼任をしているとき)は欄を増やして記入すること。 | 名称及び所在地 | ☓☓☓☓太陽光発電所(選任)〒000-0000　○○県○○郡○○村○○番地 他○筆出力　kW　電圧154kV |
| 選任された期日 | 令和○年○月○日 |
| 名称及び所在地 | △△△△太陽光発電所(兼任)〒000-0000　○○県○○郡○○村○○番地 他○筆出力　kW　電圧6.6kV |
| 選任された期日 | 平成○年○月○日 |

【留意事項】

●「選任しようとする事業場」又は「既に選任されている事業場」が2ヶ所以上ある場合は欄を追加してください。(両面印刷で構いません)

●事業場が多岐にわたる場合は、別紙にまとめても構いません。

《添付書類》

上記の申請書に加え、次の書類を添付してください。

(1)**兼任を必要とする理由書**

(2)当事業場(監督に係る発電所)に主任技術者が常勤しない場合、又は発電所と管理事業場が離れている場合には、**執務に関する説明書**

(3)兼任しようとする事業場の設置者が既に選任されている事業場の設置者と異なる場合、**「主任技術者制度の解釈及び運用」6.(1)②に掲げる要件に合致していることが確認できる書類**

［記載例］

兼任を必要とする理由書

①自社の主任技術者を兼任させる場合

当事業場は発電所電圧○○V、発電所出力○○kW、従業員○○名の太陽電池発電所であります。当社においては、これまで電気主任技術者免状取得者の採用に種々努力しましたが、応募者がなく、やむを得ず当社○○発電所に選任している主任技術者で、電気保安に関し経験の深い（氏名）○○○○に当事業場の主任技術者として兼任させることとしたい。

②系列会社の主任技術者を兼任させる場合

当事業場は発電所電圧○○V、発電所出力○○kW、従業員○○名の太陽電池発電所であります。当社においては、これまで電気主任技術者免状取得者の採用に種々努力しましたが、応募者がなく、やむを得ず資本金出資率○○％、当社役員○名のうち○名の役員の派遣を行っている親会社の○○株式会社○○発電所に選任されている主任技術者で、電気保安に関し経験の深い（氏名）○○○○に当事業場の主任技術者として兼任させることとしたい。

(2)主任技術者の執務に関する説明書　［記載例］

1. 主任技術者の常時勤務※する事業場の名称、所在地及び業務内容

名　　称　　　●×発電所　監視事務所

　　　(〒○○○－○○○○)　○○県○○市○○町○○番地

業務内容　　　●×発電所の監視業務

※1日8時間・週5日程度勤務する場所

1. 執務に関する説明
2. 常時勤務する事業場から当事業場までの距離、交通機関及び所要時間

 距　　離 キロメートル

 交通機関

 所要時間 分

1. 自宅から当事業場までの距離、交通機関及び所要時間

 距　　離 キロメートル

 交通機関

 所要時間 分

1. 当事業場における執務回数及び時間

例）設置改造等の工事期間中は毎週1回以上、その他の場合は毎月1回以上当該事業場に出向いて執務点検する。

事故発生、官庁検査その他必要ある場合は随時執務する。

1. 主任技術者との連絡及び常勤保守者

主任技術者不在中は、当事業場の（役職又は所属）（連絡担当者氏名）が、電気設備の保守にあたり、連絡責任者として主任技術者との連絡にあたる。